

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チルドレア北美原教室		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◆プログラム内容の充実について 児童の特性に合わせた活動や、家庭ではできない体験ができます。	・各曜日によって異なる活動プログラムを実施している。集団や異年齢の子との活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいます。 個々の特性や成長に合わせた活動を行っています。	・職員配置や利用人数、生活レベルに応じて1階と2階に分けて支援を行っていく。また、静と動の動き等、活動内容によっても細かく使い分けていく。
2	◆子どもの目線に立った療育 子どもたちの気持ちに丁寧に寄り添い、一人ひとりの発達状況や特性を大切に支援を行い、日常の関わりを通して得た気づきを支援に活かしています。	・子どもの言葉だけではなく表現や仕草、行動の変化変化など非言語的サインを丁寧に読み取り、不安や戸惑いの軽減など職員間で周知し、安心して気持ちを出せるよう配慮しています。そのこととしての「できた」を尊重します。	・子どもの姿を一方的から捉えないよう。全職員による視点の共有や会議内容の充実を図り、理解を深めています。
3	◆職場の雰囲気 風通しが良い職場の雰囲気作り	・毎月の会議や日々の会話の中で、職員の悩みや困り事の確認を行い、働きやすさを追及している。お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、支援や日々の業務にあたっている。	・コミュニケーションを大切に、職員の強みを生かした支援ができるよう連携を図っていく。 ・業務改善を進めるためのPDCAサイクルの充実を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◆利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足。	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足が考えられる。 ・年間計画として立案できていなかった。	・安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行う。長期休暇時の利用の場において設けていく。 ・研修会や保護者交流の企画立案において、内容に関しては保護者のニーズ・意見を聴取し、年間計画として立案する。
2	◆保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知・発信不足。 ◆訓練等実施していることの発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足していた。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していく。必要時、冊子を作成。 ・Instagramやおたより等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。
3	◆施設内が狭く、子どもたちが活発に運動するスペースが限られている。	・子どもたちの成長や活動によって、狭さを感じるが増えている。	・集団活動を小グループに分け、個別や小集団での活動の充実を図る。施設周辺の公園や公共施設を積極的に活用し、活動の場を外部に広げていく。